

8月・9月の豪雨災害に被災されたみなさまには、心よりお見舞い申し上げます。  
災害復旧に迅速に対応していただいたみなさまに、心より感謝申し上げます。

長野県議会議員  
小池 久長



茅野市・県関係者と下馬沢川視察



茅野市高部地区の様子

(長野県建設部提供)

## 令和3年度9月定例会において

新型コロナウイルス感染症の対応と県民生活の安全・安心を確保するための補正予算が可決されました。

**補正  
予算額** 一般会計 ≫ 335億1561万2千円 債務負担行為 ≫ 31億8646万2千円

### ≡ 主な内容 ≡

## 01 新型コロナウイルス感染症への対応

≫ 162億7524万8千円

## 02 県民生活の安全・安心の確保

≫ 171億5230万5千円

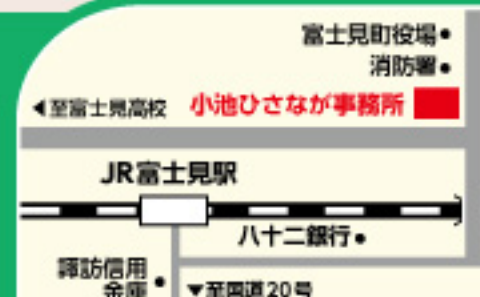
9月5日に発生した茅野市高部地区の下馬沢川で発生した土石流災害が既存の砂防堰堤3基の能力をはるかに上回る土砂であった事を踏まえ、不安定な土砂が多量にある下馬沢川上流に砂防堰堤の新設を含む対策費として約5億円の計上を行いました。

長野県議会議員 小池ひさなが事務所  
〒399-0214 長野県諏訪郡富士見町落合 9984-1062 A207  
TEL.0266-61-0501 FAX.0266-61-0502

※議会改革に伴い、特別な場合を除き議員個人の携帯電話を自棄致しますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

県民クラブ・公明  
茅野市・富士見町・原村支部  
メールアドレス  
hisanaga@koikehisanaga.com

Facebook 小池ひさなが 検索



# 9月定例会一般質問概要



## 下馬沢川上流域の治山対策について

**Q** 現在、諏訪建設事務所が下馬沢川に土石センサーの設置をしているが、林務部として「上流域の監視システム設置」についてはどう考えるか

**A** 今回の土石流の主要因は集中豪雨により沢の流量が急激に増え、溜まっていた土石が一気に流れ出たものであることから、**上流域の降雨量を把握するため本流と支流の合流地点に雨量計の設置を行いました。**時間雨量が15ミリ、連続雨量が80ミリに達した場合、茅野市へメールが配信されます。また監視カメラを設置し、上流域の状況をWEB上で画像公開しています。  
(答弁：井出林務部長)



**Q** 降雨形態の変化による山地災害の同時多発化・激甚化が予想される中、「災害に強い森林づくり」をさらに加速化させる必要があると思うが、県として今後の治山対策をどのように考えているか

**A** 本年、諏訪管内で29箇所 of 山地災害が発生しています。新たな治山対策としては災害が集中した、諏訪西山地区の総合的な流域対策事業の導入を考えており、リモートセンシング技術を活用し流域内の荒廃地や手入れ不足の過密林等、土砂災害防止機能や水源かん養機能が低下している箇所を抽出し**治山施設と森林整備を一体的に行う計画です。**(答弁：井出林務部長)

## 太陽光発電について

**Q** 長野県ゼロカーボン戦略に掲げる2050年78万件の「屋根太陽光発電」は実現可能な見込みであるのか？

**A** 本県が公開している「ソーラーポテンシャルマップ」において太陽光発電に適しているとされる98万件のうち、人口減少も考慮し約8割に当たる78万件と設定した目標値です。**住宅については建替え・新築時にゼロエネルギー化を図り、太陽光発電の設備の普及を促進していきます。**一方、**店舗・事業所へは、再生可能エネルギーの導入が企業価値を高めることに繋がる**といった啓発を進めて参ります。(答弁：猿田環境部長)



**Q** 地域と調和した太陽光発電施設を促進するためのお考えは



**A** 2050年ゼロカーボンを達成するためには**「屋根ソーラー」だけではなく、「野立て」による太陽光発電も一定程度は必要**だと考えています。そのためには防災面、あるいは環境面などに十分配慮して、**その地域の合意を得ながら設置を進めていくことが重要**だと考えます。

地球温暖化対策推進法の改正により、来年度から「促進地域」という制度がスタートします。市町村は、太陽光発電などの再生エネルギー生産設備等を誘導する区域の設定ができる形になります。

県として除外すべき区域や配慮すべき事項に関する基準を示すことができるようにされており、県としての考え方をしっかりまとめた上で来年度から制度開始ができるよう、環境と地域との調和のとれた太陽光発電の推進が進むように取組をしていきたいと考えております。(答弁：阿部知事)